

**和田公民館**

## 和田地区の概要

---

和田地区は佐倉市の最東端に位置し、12の地区より構成されている。昭和29年の市制発足以前は「和田村」と称し、明治22年から14の村落で構成されていた。面積は市全体の14%に当たる14.4平方キロ、人口は1.2%に当たる2,117人、世帯数は768世帯で、農業が盛んな地域である。

大正頃までの農家の主な産物は米・養蚕であったが、昭和初期になると養蚕が衰え、里芋・落花生・甘藷に変わる。戦後、豚の飼育が盛んになり、昭和27年頃には全国的に有名な養豚地区となる。その後、養豚・酪農・大和芋と専門化され、大型機械の導入も盛んに行われている。

このように専門化された農業地域においても、年々農業従事者は減少し、後継者育成にも大きな問題をなげかけている。地区全域が市街化調整区域のためもあり、人口は減少傾向を示している。また、少子化、核家族化など都市化傾向もみられ、青年層の地域外流出、高齢者層の増加など、純農村として構成されていた社会は変化し続けている。また、地区内を国道51号線と東関東自動車道が通り、佐倉インターチェンジが隣接しているため、和田地区内にも企業の物流基地が進出しており、新たな変化も見られる。

平成11年12月、和田地区の中核施設として和田ふるさと館が開館した。和田出張所、和田コミュニティセンター、和田地域防災集会所、和田農産加工実習所の多くの機能を持つ施設となっている。また平成12年度には、和田公民館分館として歴史民俗資料室の展示工事を実施し、平成13年4月1日に和田ふるさと館歴史民俗資料室が開室した。

# 管理・運営の部

## 1. 公民館運営計画

---

---

### 運営方針

佐倉市立公民館運営計画を基本として、常に地域の実態をとらえながら、使いやすく、親しみのある教育施設として住民の自主的交流・集会・学習などの活動を助成し、地域社会教育活動の中心としてその役割をはたすことに努める。

### 努力目標

- 使いやすく、親しみのある館の環境づくりに努める。
- 地域性を生かした学習内容の充実をはかる。
- 公民館事業と地域団体活動等を効果的・有機的に結びつけていく努力をする。

### 事業内容

#### 1. 学級講座に関する事業

参加者手作りの学級・講座を開設し、それぞれに興味・教養的学習から専門的学習に至るまで、日常生活に密着した幅の広い学習を展開すると共に、地区住民としての共通の課題を探り、参加者がそれぞれの立場で考え、学習しながら実践に結びつけていくための足がかりとする。

#### 2. 団体育成に関する事業

はたおり保存会・和田小PTA民俗資料収集委員会等の社会教育的団体が自主的、継続的に活動ができるよう資料の提供や、各機関との連絡調整などの援助を行う。各種の住民団体が円滑な活動をすすめられるよう援助・協力をする。

#### 3. 歴史民俗資料室展示事業

平成13年4月1日に和田ふるさと館内に開室した歴史民俗資料室において、和田地区民俗資料（佐倉市指定文化財）を中心として、展示・収蔵・調査研究・教育普及活動、及び伝統技術等の保存継承活動を行い、地区の歴史環境・自然環境と地域の人材を活用した地域づくりの拠点とする。

#### 4. 広報に関する事業

「公民館だより・お知らせ」の発行 年5回発行

#### 5. 図書事業

市立図書館との連携により、図書案内を充実し、リクエスト制度などにより利用増を図る。  
（蔵書約1,800冊 貸出し1人10冊 期間2週間）

#### 6. 施設・設備・備品の提供

開館 月～日曜日 午前9時～午後5時（祝日及び第2第4月曜日は休館）  
火・金曜日の夜間（午後10時まで）

## 2 . 公民館利用状況

---

### 年度別利用状況

年度 区分	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
利用件数	532	535	496	503	472
利用人数	5,980	5,975	5,691	6,467	4,647
開館日数	323	322	320	322	320

# 事業の部

## 事業一覧

領域	事業名	学習内容	対象	期間・回数
家庭教育	子育て教室	楽しい親子遊びを通して、幼児の自立のための親の役割、環境づくりや遊びの意義などについて学習した。	2・3歳児と保護者9組	6月～12月 9回
	楽しく家庭教育講座	子どもがよりよく育つために、家庭の働きや、あり方、方法などを学習した。	主に小学生の保護者	5月～3月 36回
青少年教育	剣道教室	異年齢集団の中で、剣道を通し心身の健全育成と社会人として必要な習慣を身につけるよう指導した。	地区の小学生 22人	5月～2月 35回
	軽スポーツ大会	地域の協力で各種軽スポーツを実施し、子供の健全育成を図った。	地区の小学生 21人	10月24日
	夏休みおもしろ体験合宿	保護者と地域の協力により、子どもたちに共同生活体験の機会を提供し、子どもの自主性、協調性、社会性を高めた。	地区の小学生 (4年～6年) 18人	8月5日～ 6日 1泊2日
	佐倉っ子塾 料理教室	地域の食材を生かした料理教室を実施し、子どもの自立と健全育成を図った。	地区の小学生 70人	6月～2月 3回
	佐倉っ子塾 伝統文化体験教室	はたおり・凧作り・編み物体験を地域の協力で実施し、子どもの自立と健全育成を図った。	地区の小学生 15人	6月～3月 3回
成人教育	和田地区防災訓練	地域づくりの実践現場で役立つ防災や防犯について実践的な訓練を行った。	地区の成人 58人	1月23日
	和田公民館文化展	公民館利用団体・地域の個人作品の展示会を実施する。	参加団体9 個人参加8人	11月19～ 21日 3日間
	パソコン自由利用	地域住民の自由にパソコンを利用してもらった。	一般	通年
	佐倉学体験講座 しめ飾り講習会	和田地区のわらを使い、正月用しめ飾りを作ることで、「わら」の文化を体験しながら、郷土への愛着を深める。	一般 17人	12月26日
	佐倉学体験講座 ふるさとの味工房	地域の食材をいかして地域間交流を図るとともに、食文化の伝承を図った。【和田の新鮮野菜料理、太巻き寿司】	市内の成人 38人	10月～12月 3回

	佐倉学入門講座 楽しく学べる和田 地域塾	地域住民の協力を得ながら、和田地区の歴史・生活・民俗等を学び、実際に体験し、豊かな自然を体感することにより、郷土に対する関心を高め、魅力を再発見していくための講座を実施した。	市内の成人 19人	4月～10月 6回
高齢者教育	長命大学交流会	長命大学生と地区の高齢者が集い、心身ともに健康で生き甲斐のある生活を過ごせるよう、和田地区交流バス見学会を実施した。	地区の成人 39人	3月4日
	長命大学手芸教室	手芸を通して親睦交流を深め、生き甲斐づくりを図る。また受講生により、再利用を通じて物を大切にすることを啓発した。	主に60歳以上の成人 10人	5月～3月 9回
広報・展示	公民館だより発行	公民館主催事業や地域行事等の情報提供を行った。(各700部)	和田地区全世帯	年4回発行
	歴史民俗資料室の公開	和田ふるさと館歴史民俗資料室の運営。 市内小学校社会科見学 15校 1150人	一般	通年
団体育成	団体育成事業	地域の社会教育団体、住民団体等が継続的に活動できるよう協力援助した。	和田地区青少年育成住民会議 和田小PTA 民俗資料収集委員会 和田はたおり保存会	通年
図書	図書貸し出し	公民館図書コーナーの図書提供のほか、市立図書館と連携しリクエスト図書の提供を実施した。	一般	通年

# 1. 家庭教育事業

## 子育て教室

- 開設趣旨 楽しい親子遊びを通して、幼児の自立のための親の役割、環境づくりや遊びの意義などについて学習する。
- 対象・人数 地区の2～3歳児とその保護者 9組
- 期間・回数 平成22年6月～平成22年12月 9回
- 指導者 蓮 淳子
- 学習プログラム

回	月日(曜)	テーマ	会場
1	6月11日(金)	開講式 お母さん大好き	和田ふるさと館
2	6月25日(金)	友達になろう	和田ふるさと館
3	7月9日(金)	造形遊び	和田ふるさと館
4	9月10日(金)	言葉遊び	和田ふるさと館
5	10月8日(金)	リズム運動	和田ふるさと館
6	10月22日(金)	みんなでヨーイドン	和田ふるさと館
7	11月12日(金)	自然の友だちみーつけた	和田ふるさと館
8	11月26日(金)	造形遊び	和田ふるさと館
9	12月10日(金)	クリスマス会 閉講式	和田公民館

## 楽しく家庭教育講座

- 開設趣旨 子どもがよりよく育つために、家庭の働きや、あり方、方法などを学習する。
- 対象・人数 主に小学生の保護者 12人
- 期間・回数 平成22年4月～23年3月 36回(主に水曜日の午前)
- 指導者 職員、インストラクター、地域人材講師
- 内容 家族の体力増進、食の教育、情報活用能力、地域活動 等
- 「子育て教室」「楽しく家庭教育講座」を終えて
- 「子育て教室」については、昨年に引き続き、教室を修了した親が講師補助として事業に参画し、地域の中で助け合って家庭教育を学習する環境が出来つつあります。
- 「楽しく家庭教育講座」については毎週水曜日の午前中に開催。家族の食の教育、情報活用能力、地域活動などをテーマとし家庭教育学習を行いました。
- 主に行ったパソコン講座では、ワードやエクセルの基本操作に加え、PTA 会報や家計簿などで実際に活用できるよう実践的なテクニックを学びました。
- また、前年度和田小 100 周年でつくった“ミニわらじ”の作り方を習得し、佐倉城下町 400 年記念事業として行った「手作りミニわらじ」の講師として活躍していただきました。

## 2 . 青少年教育事業

### 剣道教室

○開設趣旨 異年齢集団の中で、剣道を通し心身の健全育成と社会人として必要な習慣を身につける。

○対象・人数 地区の小学生 22人

○期間・回数 平成22年5月～23年2月 35回

毎週土曜日 午前10時～12時

○学習目標 剣道をとおして礼節を学び、たくましい心身をつくる。

仲間大切さを知ると同時に、お互いに切磋琢磨することの重要性を学ぶ。

○指導者 寺田政一

○協力者 藤崎英樹・江野沢清美・鶴田潤子・伊達幸子

○学習内容 剣道の基本修得・月例試合・対外試合・級位審査会 等

○講座を終えて

今年度は、剣道の「礼に始まり 礼に終わる」を基本に子どもの心身の訓練や仲間づくりを図りました。

また、親の会も昨年に引き続き、自主稽古を企画するなど活発に活動しました。

7月25日～26日には佐倉草ぶえの丘にて一泊二日の剣道合宿を行い、厳しい稽古とともに楽しい思い出をつくることができました。

### 軽スポーツ大会

開設趣旨 地域の協力で各種軽スポーツを実施し、子どもの健全育成を図る。

対象・人数 地区の小学生 21人

期間・回数 平成22年10月24日

学習目標 グラウンドゴルフを通じて世代間の交流を図る。

指導者 山本 等(体育指導員)

共 催 和田地区青少年育成住民会議 和田地区社会福祉協議会

学習内容 グラウンドゴルフ

講座を終えて

住民会議と和田地区社会福祉協議会と共に実施し、地域の子どもと地域住民が交流し青少年の健全育成を、地域で考える場になっています。

### 夏休みおもしろ体験合宿

開設趣旨 子どもの自主性、協調性、社会性を高めるため、保護者と地域の協力により、子どもたちに共同生活体験の機会を提供する。

対象・人数 地区の小学生4年～6年 18人

期間・回数 平成22年8月5日～6日 1泊2日【和田公民館内で合宿】

指導者 NPOレーヴェン小瀬 綾、六崎美知代 ほか

講座を終えて

昨年度に引き続き、夏休みおもしろ体験合宿を実施しました。

事前に「体験合宿保護者打合せ会」を開催し、合宿の内容についてや、夕食、宿泊、朝食などの際の保護者サポート当番を決めるなど、公民館だけでなく地域の大人たちが一緒に実施するというのがこの事業の大きな特徴です。

合宿では、専門家を講師に迎え、運動神経に関係なく楽しく体力増進を図る運動や、素焼きの陶器に多彩な色を使って絵付けを行うアメリカン陶芸のプログラムを行いました。

また、料理や身の回りのことなどを自分で行うことで、日常生活の中における保護者の大変さや感謝の気持ちを再認識することもできました。

その他、花火やナイトウォークなど、様々な体験をとおして夏休みの楽しい思い出もたくさん作ることができました。

### 佐倉っ子塾 料理教室

- 開設趣旨 地域の食材を生かした料理教室を実施し、子どもの自立と健全育成を図る。
- 対象・人数 地区の小学生 70人
- 期間・回数 平成22年6月～23年2月 3回
- 学習目標 地域住民や地域組織と協働し、子どもたちを地域住民で見守り育む場とする。
- 指導者 六崎美知代
- 共催 和田地区青少年育成住民会議
- 学習内容 料理
- 学習プログラム

月 日	テ ー マ	内 容	指 導 者	会 場
6月19日 (土)	第1回子ども料理教室	(1) サラダライス (2) カントリーブレッド	六崎 美知代	和田公民館 実習室
10月16日 (土)	第2回子ども料理教室	(1) 豆腐のカレー煮 (2) ジャム蒸パン/豆蒸パン (3) りんごかん	六崎 美知代	和田公民館 実習室
2月27日 (土)	第3回子ども料理教室	(1) チョコレートクッキー (2) パナナクレープ (3) だまっこ汁	六崎 美知代	和田公民館 実習室

- 講座を終えて  
和田地区青少年育成住民会議と公民館が共催で実施しました。  
「子ども料理教室」は、子どもたちが男女に関係なく生きるために『食生活』において自立することを目的としています。  
子どもたちは料理に興味をもち、作る楽しさ・出来たときの喜びを感じ取っていたようでした。  
毎回、低学年から高学年まで、多くの児童が参加する人気事業です。

### 佐倉っ子塾 伝統文化体験教室

- 開設趣旨 和田地区青少年育成住民会議等と和田公民館が共催で行う事業で、地域住民の協力を得ながら、地域素材を活かした体験教室を通じて青少年の自立と健全育成を図る。
- 対象・人数 編み物体験 地区の小学生 13人  
はたおり体験 市内の3年生～中学生とその保護者 5組10人  
凧作り体験 地区の小学生 20人(3年生までは保護者と一緒に)
- 期間・回数 平成22年7月24日  
平成22年7月27日  
平成22年12月23日
- 学習目標 地域住民や地域組織と協働し、子どもたちを地域住民で見守り育む場とする。
- 指導者 和田はたおり保存会 長命大学手芸教室 青少年相談員 他
- 共催 和田地区青少年育成住民会議
- 協力者 主任児童委員、青少年相談員、和田子ども会
- 学習内容 編み物体験・はたおり体験・凧作りなど
- 学習プログラム

月 日	テ ー マ	内 容	指 導 者	会 場
7月24日 (火)	編み物体験教室	ゆび編みで作るアクセサリ	長命大学手芸 教室生による 指導	和田公民館 和室

7月27日 (土)	はたおり体験	和田ふるさと館所蔵のはたおり機を使って、親子ではたおりを体験。	はたおり保存会	和田ふるさと館 ふるさと伝承室
12月23日 (日)	凧づくり教室	地域団体が協力し伝統の彦一凧作りに挑戦した。	青少年育成住 民会議 青少年相談員 和田子ども会	和田小体育館

○講座を終えて

すべての事業は、和田地区青少年育成住民会議などの地域団体と公民館が共催で実施しました。

「はたおり体験」は、和田はたおり保存会の協力を得て、親子で伝統文化を体験する場の提供をすることができました。

「編み物体験」は長命大学で公民館を利用いただいている高齢者の方々に小学生を指導していただき、世代間交流も同時に実現できました。

「凧作り」は、住民会議と青少年相談員の共催で実施し、親子で伝統的な彦一凧作りをしました。和紙に絵を描き、それを竹ひごと紐をつかって凧に仕上げていきます。

市販の凧と違い、なかなか思うように作ることができず、それをまわりの大人と一緒に作り上げるため、地域で子どもを育てる機会となっています。

## 3 . 成人教育事業

### 和田地区防災訓練

- 開設趣旨 地域づくりの実践現場で役立つ防災や防犯について訓練を行う。
- 対象・人数 地区の成人 58人
- 期間・回数 平成23年1月23日
- 学習目標 災害発生時に、落ち着いた行動と助け合いの精神を醸成する
- 指導者 消防署職員
- 共催 和田地区社会福祉協議会
- 協力者 交通防災課
- 学習内容 避難訓練・消火訓練・起震車よる地震体験
- 学習プログラム

講座を終えて

「和田地区防災訓練」では、和田地区社協と共催して避難訓練、消火訓練を行うなど、現代社会の要請に対し、社会教育施設として徐々に対応することができるようになりました。

### 和田公民館文化展

- 開催趣旨 日頃和田公民館を利用している団体・個人の成果発表の場として作品を展示する。
- 出展者数 参加団体数 9団体  
個人出品者 8人
- 期間 平成22年11月19日～21日 3日間
- 会場 和田公民館

### 佐倉学体験講座・ふるさとの味工房

- 開設趣旨 和田地区の特長を活かし、食材を地元の物を使用して食文化の伝承を図る。
- 対象・人数 成人 38人
- 会場 和田公民館実習室
- 期間・回数 平成22年10月～平成22年12月 3回
- 学習プログラム

月日	テーマ	内容	指導者	参加数
10月6日 (水)	和田の新鮮野菜 料理講座	(1) 佐産佐消スペシャル (2) 落花生おこわ (3) とん汁 (4) おからようかん	食生活改善推 進委員和田支 部	13
10月29日 (金)	太巻き祭り寿司 講座	準備から基本の巻き方まで 「ダイヤモンド」 「パンダ」	伊藤芙美子	9
12月9日 (木)	太巻き祭り寿司 講座	準備から基本の巻き方まで 「うさぎ」 「カメ」	伊藤芙美子	16

講座を終えて

ふるさとの味工房については、和田地区の特長を活かし、食材を地元の物を使用して食文化の伝承を図ることができました。

## 佐倉学入門講座・楽しく学べる和田地域塾

開設趣旨 和田地区の歴史や民俗、自然や地理等を学び和田地区に対する知識理解を深め、郷土愛の育成を図る佐倉学を普及推進する。

対象・人数 成人 19人

期間・回数 平成22年5月～平成22年10月 6回

### 学習プログラム

月 日	内 容	指 導 者 等
5月20日(木)	和田の歴史について	大川 一光氏(地元農家)
6月4日(木)	地元作家の指導による陶芸体験	安本幸世氏(陶芸家)
6月17日(木)	和田地区の自然と仏像を訪ねて	松平喜美代氏(植物研究家) 京極 勇剛氏(宝金剛寺住職)
7月8日(木)	はたおり体験	はたおり保存会
7月23日(木)	地元作家の指導による陶芸体験	安本幸世氏(陶芸家)
10月14日(木)	わら細工 鍋敷きの製作	藤井 毅氏(地元農家)

講座を終えて

佐倉学入門講座として本事業を開設しましたが、市内の各地域から参加があって、好評を得ることができました。住民との交流と伝統文化を知るための貴重な機会になったと思います。

## 4 . 高齢者教育事業

### 長命大学交流会

○開設趣旨 長命大学生と地区の高齢者が集い、心身ともに健康で生き甲斐のある生活を過ごせるよう、和田地区交流バス見学会を行う。

○期 日 平成23年3月4日

内 容 浅草浅草寺を訪ね、そこで活躍しているボランティアガイドの実際を学び地域における高齢者の役割について考える。

○対象・人数 和田地区在住の成人 39人

○講座を終えて 参加者と近い世代のボランティアガイドの方と接する機会は、参加者の方たちにより刺激になったようです。また、なかなか一緒に外出する機会がない方たちが共に遠出することで、連帯感を得ることができました。

### 長命大学 手芸教室

○開設趣旨 高齢者が心身ともに健康で生き甲斐のある生活を過ごせるように、手芸を通し、高齢者の親睦と生き甲斐作りを進める。

○対象・人数 60歳以上の成人 延べ63人

○期間・回数 平成22年5月～23年3月 毎月2回  
(2回のうち1回は自主活動) 9回

○指 導 者 佐藤 節子

○学 習 内 容 リフォームを中心とした編物(文化展に作品展示)

講座を終えて

長年にわたる活動で、手芸技術はかなり高度なものとなっています。高齢者どうしの親睦をはかると同時に家庭内での高齢者の役割を考える為にも重要です。受講生が減少しつつあるため、公民館だよりや口コミなどで、随時、呼びかけていきます。

## 5 . 広報・展示事業

### 広報事業

公民館だより 公民館主催事業や地域行事等の情報を提供する。  
発行 年4回発行(9月、10月、12月、2月)  
配布方法 区長を通し各戸配布

### 展示事業

#### 和田ふるさと館歴史民俗資料室展示事業

##### 事業趣旨

平成13年4月1日、和田ふるさと館内に和田公民館別館として「和田ふるさと館歴史民俗資料室」が開室しました。展示の中心となる農具・民具の実物資料は、昭和45年より和田小学校PTA民俗資料収集委員会が地区内に散在する資料の収集を行い、平成11年に佐倉市への寄贈を受けたものです。歴史民俗資料室は、和田地区の歴史環境・自然環境と地域の人材を活用した地域づくりの拠点、市民の生涯学習の拠点としての機能を持ち、学校教育の支援も行っています。

市内小学校社会科見学については、和田はたおり保存会によるはたおりの実演に加え、今年度から和田小PTAの有志による解説を行いました。

##### 入室状況

入室者数 合計 1,423人

月別		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
区分														
個人	人数	8	14	119	7	25	10	36	18	3	22	11	0	273
	件数		5	8				2						15
団体 小学生	人数		431	578				141						1150
	件数													0
団体 一般	人数													0
	件数													0

## 6 . 団体育成事業

#### 和田地区青少年育成住民会議

近年、青少年を取り巻く環境は著しく変化しそれに伴い青少年に関する問題は複雑かつ深刻化しています。こうした問題の解決のため、市民1人ひとりが問題解決に取り組み、家庭や学校、そして地域がそれぞれの立場で、各種団体と行政が協同して健全育成を推進していくことを目的に、昭和57年、佐倉市青少年育成市民会議が結成されました。

組織としては市内7地区の青少年健全育成住民会議と、子ども育成連盟、PTA連絡協議会などその他構成団体からなり、事務局は佐倉市健康こども部児童青少年課が行っています。

和田地区青少年育成住民会議は、地域住民が相互に連携協力し、青少年の健全な育成と非行防止、福祉を図るため、研究並びに協議を行い、地域ぐるみ活動を伸長させることを目的としています。

主な活動としては、防犯パトロールや地域行事の企画/運営、各種団体への助成などを行っています。

#### 和田小学校PTA民俗資料収集委員会

昭和45年、和田小学校PTAが校史編纂と民俗資料の収集活動をはじめ、46年11月に収集委員会を設置しました。収集された民俗資料は、和田小学校郷土学習室、和田公民館民俗資料室での公開を経て平成11

年10月に佐倉市へ寄贈されました。

現在では民俗資料の収集自体は概ね終了しており、収集委員会では引き続き、地区住民や公民館と連携し、民俗資料の活用や伝統技術の伝承等の活動を行っています。和田小学校児童に対する活動を積極的に行い、各種事業を通じて子どもと触れ合う時間を多く持つことが出来ました。特に小学校の総合的な学習の時間を利用して、5年生にミニぞうり作りの指導をしました。

又、恒例のふるさと祭りやしめ飾り講習会など、和田の特色を生かした活動を実施しました。公民館では地域の民俗や歴史学習の一環として収集委員会の活動を援助しています。

#### 和田はたおり保存会

和田小PTA民俗資料収集委員会の活動で収集されたはた織機を、地元の高齢者が中心となって復元し、昭和51年に和田公民館で開講したはたおり講座の受講生によって、和田はたおり保存会が結成されました。公民館では、和田地区の伝統技術の保全と、はたおり機の動態保存の面から援助を行っています。主な活動としては、年間を通じての定期活動や綿の栽培、5月・6月にかけて歴史民俗資料室を訪れた約1100人の小学生に対して、糸づくりやはたおり機の実演を行いました。

また7月には公民館主催の「親子ではたおり体験」に指導者として協力して、はたおりの面白さを参加者に伝えています。

## 7. 図書事業

---

趣 旨	読書活動を支援していくと共に、個人学習や集団学習への資料提供を行い、学習の深化を図る。リクエストの受付や他館からの返却受付などの利用者の便を図る。また、和田地区関連資料や佐倉市関連資料を収集し、貸し出すことにより、地域理解を深めるための支援を行う。
蔵 書 数	1,800冊